

家畜衛生だより

From 中央家保 牛用

中央家畜保健衛生所・中央動物防疫協議会
〒262-0011 千葉市花見川区三角町656
Tel：043-250-4141（夜間・休日対応）
Fax：043-286-0090
（公社）千葉県畜産協会
〒260-0021 千葉市中央区新宿1-2-3

7月1日は「一斉消毒の日」!

7月1日は「一斉消毒の日」です。暑さも増す中、暑熱対策と併せて、衛生対策の再確認をお願いします!!

消毒薬の種類と使用方法について

家畜伝染病予防法の飼養衛生管理基準では、衛生管理区域に入る車両や人の消毒が義務付けられています。消毒薬の種類はいくつかあり、それぞれ長所・短所があります。

目的に合った正しい方法で使用して、病気の発生を予防しましょう!

◎：使用に最適

○：使用に適する

△：一部の薬剤では効果あり

種類	細菌		真菌	ウイルス※			使用対象					金属腐食性
	一般細菌	芽胞菌		エンベロープ有	エンベロープ無	コクシジウム	畜舎	器具	踏込槽	畜体	車両	
逆性石鹸 パコマ、アストップ、 クリアキル等	◎		△	○			◎	○	○	◎	○	
塩素系 クレンテ、アンテック ビルコンS等	◎	◎	○	◎	◎		○	○	○	○		強
ヨード系 バイオシッド、 クリンナップ等	◎	○	○	○	◎		○	○	○	◎		強
アルデヒド系 グルタクリン等	◎	◎	◎	◎	◎		◎	○	○		○	
オルソ剤 タナベゾール、 トライキル等	◎		○	○		○	○	○	○			
消石灰	◎		○	○	○		○		○			

※エンベロープ有：牛伝染性鼻気管炎、牛ウイルス性下痢粘膜病、

牛コロナウイルス病、牛流行熱、牛RSウイルス病 等

エンベロープ無：口蹄疫、牛アデノウイルス病、牛ロタウイルス病 等



1 効果的な消毒のポイント

- (1) 長靴の汚れを落として消毒！
- (2) 正しい消毒薬を選びましょう！
- (3) 消毒薬は定期的に交換！
- (4) 消毒薬の用法・用量を守る！



2 消毒薬の使用上の注意

- (1) 種類の違う消毒薬を混ぜない！
- (2) ゴム手袋・マスク・保護メガネの着用を！
- (3) 安全な場所に保管！
- (4) 休薬期間に注意！

消毒薬によっては畜体に直接噴霧すると、定められた期間と畜場へ出荷できなくなるものがあります。また、畜体への噴霧自体を禁止している消毒薬もありますので、使用前に取扱説明書等でよく確認しましょう。

★参考：主な消毒薬の休薬期間

パコマ⇒2日間、クリアキル⇒5日間、アストップ⇒5日間、
クレンテ⇒2日間



≪休薬期間が3日間の例≫

7月1日に畜体噴霧 ⇒ 7月2日～7月4日休薬 ⇒ 7月5日から出荷できます

粗飼料への異物混入発見時の通報について

昨年度、東部および北部管内農家において、給与している輸入粗飼料に異物（小型哺乳類および鹿の死体の一部）が混入しているのが見つかりました。

哺乳動物由来の異物混入に気付いた時は、
家畜保健衛生所および購入元の販売業者へ、
すみやかに連絡して頂けるようお願いいたします！



異常発見時は 千葉県中央家畜保健衛生所まで。

TEL. 043-250-4141 (夜間・休日転送)

FAX. 043-286-0090

衛生だよりはホームページからも閲覧できます。(PDFを閲覧できる環境が必要です。) <http://www.pref.chiba.lg.jp/kh-chuuou/index.html>

県内で牛サルモネラ症発生が相次ぐ

6月に君津地域の酪農家1農場で牛サルモネラ症が発生しました。本病は4月中旬における中央管内での発生のほか、4月に君津地域、5月に安房地域でも発生しています。

これから暑さによりサルモネラが増殖しやすくなると同時に、牛の体調も不安定になります。まん延を防ぐためにも飼養衛生管理基準の遵守をお願いします。

サルモネラ症の症状

●子牛●

- 元気消失
- 食欲不振～廃絶
- 発熱（40～42℃）
- 下痢（悪臭がある。泥状～水様便。悪化すると血便。）

- * 症状なく突然死することがある。
- * 肺炎や関節の腫れが見られることがある。

1カ月齢以下の幼弱牛がもっとも感染しやすく、症状も激しく、死亡率も高い。

●成牛●

- 元気消失、食欲不振
- 発熱
- 下痢
（悪臭がある。泥状～水様便。
悪化すると血便となり、時に
偽膜が混じる。）



血便



泥状便



水様便

- 乳量減少（偽膜が混入）
- 死産を起こす場合も。（サルモネラ・ダブリン等）

分娩後がもっとも発症しやすい。症状が悪化すると死亡することがある。

予防のために、飼養衛生管理基準の遵守を！

- ・車両、靴底の消毒徹底（踏み込み消毒槽設置など）
- ・感染源となる野鳥、野生動物、害虫の侵入防止、駆除
- ・牛舎内外の清掃、消毒
- ・導入家畜の一時隔離

サルモネラは人にも感染します。作業後は手指をよく洗いましょう！

異常発見時は 千葉県中央家畜保健衛生所まで。

TEL. 043-250-4141 (夜間・休日転送)

FAX. 043-286-0090

衛生だよりはホームページからも閲覧できます。（PDFを閲覧できる環境が必要です。） <http://www.pref.chiba.lg.jp/kh-chuuou/index.html>